

2020年4月1日

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「膵管内乳頭粘液性腫瘍の術前良悪性診断の指標」 への協力をお願い

消化器外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 研究の対象：

2006年4月1日から2018年12月31日までに膵管内乳頭粘液性腫瘍(分枝型あるいは混合型)の診断で膵切除術を受けられた方。

### 研究期間：

倫理審査委員会承認日～ 2020年12月31日

### 研究目的・方法：

膵管内乳頭粘液性腫瘍には悪性(癌)があり、悪性症例では膵臓癌と同様の臨床経過をたどることが問題です。よって、術前に良性なのか悪性なのかを診断することが重要になりますが、実際の術後病理診断では結果的に良性であることも多くあります。そこで、当科で過去に膵切除術を行った膵管内乳頭粘液性腫瘍(分枝型と混合型)の患者さんを調査し、術後最終診断が良性であった方、悪性であった方での術前血液検査、画像検査結果を比較し、術前の良悪性診断に有用な指標を見出すことが目的です。

### 研究に用いる試料・情報の種類：

診療録より、以下の情報を取得いたします。

- ① 年齢、性別、BMI、糖尿病の有無、術前血液検査結果(腫瘍マーカー含む)
- ② 術前画像診断所見(超音波内視鏡検査、造影CT検査、造影MRI検査)
- ③ 術後病理組織学的診断
- ④ 再発の有無、生存の有無

### 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

## **研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

## **連絡先**

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

電話番号 058-230-6233

氏名： 今井 寿

## **研究責任者**

岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野

氏名： 吉田 和弘